

【学校教育目標】

郷土（ふるさと）を愛し 心豊かに学び合い 未来を拓く 児童の育成

【学校スローガン】

～ 伴谷小が今と未来のリーダーとなろう ～

伴谷小が大好き・伴谷小で学んでよかった

【めざす子ども像と具体的な姿】

ば	伴谷を愛する子(郷)	ん	うんと考える子(知)	た	たくましい子(体)	に	にこやかな子(徳)	っ子
	○ 伴谷の人に関わって意欲的に学ぶ子		○ 自分の考えをもち、友だちから学ぶ子		○ 体を動かす喜びや楽しさを味わう子		○ 元気にあいさつができる子	
	○ 伴谷のよさを自分の言葉で話せる子		○ 自分の考えや思いを進んで表現する子		○ めあてをもって体づくりに励み、やりぬく子		○ 自分や友だちの良さに目を向ける子	
	○ 伴谷の歴史から地域の未来を考える子		○ 自分から進んで考え、実行できる子		○ 基本的な生活習慣が身につく子		○ 違いを認め合い、友だちを思いやる子	
○ 人と関わる喜びを味わい、自分も人の役に立つとする子	○ 学ぶ楽しさを感じ、学んだことを生かそうとする子	○ 自分の心と体を大切にしている子	○ 進んで学級や学校のために働き、喜びを感じる子					

【令和4年度めざす学校】

どの子ども“前のめり”になる学校

【重点具体的方策】

■ 伴谷小の授業力向上

- ～こうか授業術5箇条を質の高まりへ～
- ・本校独自の子ども主体「めじとまふ」へ
- ・学び合う力、読み解く力を培うプロセス重視

■ 家庭学習を生かした授業の工夫

(予習を生かす授業・家庭学習ノートの取組)

■ 基礎基本の徹底

- ・話すこと・聞くこと・書くこと・読むこと
- ・言語環境の構築

確かな学力(わかる)

「なるほど」「わかった」「できた」の実感
(日々の授業改善&校内研究)

■ 絶え間ない授業改善

- 研究部会・4部会の活性化
- 研究協議会の活性化
- きめ細やかな指導
- ふるさと学習の推進
地域の教育的資源の活用

生きる力の育成

切磋琢磨

健やかな体(たくましい) (心と体の成長・体験の充実)

- 体力の向上と健康な生活を送る
- 新学習指導要領を踏まえた教科横断的なカリキュラム編成
- 体験活動の推進と経験豊かな学校生活
- 健康教育部会 健康を支える基本的生活習慣
- 体力向上 (体育の授業・マラソン・ジャンプ大会など)
- 食育・健康・保健・生涯学習
- 家庭との連携

豊かな人間性(思いやる) (道徳・人権・多様性尊重)

- 授業のユニバーサルデザイン化
- 道徳教育を大切にする教育活動
- 特別支援教育・就学相談の充実
- 寛容する心・思いやる心の醸成
- 多文化共生・アミーゴ・通級指導教室
かわせみ・国際理解教育
- 校内部会を中心とした取り組み
- 命を大切に、いじめを許さない

【子どもの一番の応援団 オール伴谷】

家庭	伴谷スポーツ少年団育成会	教育後援会	伴谷地区就学前教育協議会	地域	関係機関
伴谷小PTA	思川会	学校運営協議会	伴谷小学校補導連絡会議 (安全対策推進委員会)	・伴谷自治振興会・区長会 ・老人会・民生委員児童委員会 ・水口交流センター ・伴谷BANBANクラブ等	・県教委、市教委、教育研究所 ・保幼および小中連携 ・各種機関 児童クラブ 医療機関 三雲養護学校 消防署 少年センター 警察 等
伴谷地区人権教育推進協議会					

伴谷小コミュニティ・スクール(BCS)の推進

教職員	【保護者・地域から信頼される 伴谷小学校】				
	コンプライアンス遵守 —法令順守—	他職種協働 —連携—	教壇に立つ自覚・明朗な姿 —子どもたちへの教育的愛情—	人権感覚・意識の向上 —職員室から—	危機管理意識の高揚 —子どもの安心安全—